

候補者氏名	所属	登録区分	抱負（推薦の場合は推薦文および推薦者名）
ウォリス サイモン	東京大学理学系研究科	固体地球科学	2018年から日本地球惑星科学連合の副会長として務め、特に国際交流を担当してきました。今後も連合の発展に貢献し、海外の地球惑星科学コミュニティとの連携をさらに強めたいと考えています。
道林 克禎	名古屋大学大学院環境学研究科	固体地球科学	私はこれまでに副会長と総務担当理事を担当し、JpGUの運営に携わってきました。次期についても引き続き理事としてJpGUのさらなる発展の為に努めていきたいと思ひます。
河宮 未知生	海洋研究開発機構	大気水圏科学	大会へのスポンサー制度確立など担当業務を進めている最中で、ぜひとも理事としてJpGUの財政基盤安定化への貢献を継続する機会を得たいと考えています。ジャーナル発行を始めとした国際発信も推進します。
村山 泰啓	情報通信研究機構NICTナレッジハブ	大気水圏科学	連合での情報担当理事やオープンサイエンスの議論、学術会議での研究データ共有小委員会委員長、AGUやISC等国际委員など他組織との連携も生かして、JpGUとその学術の成長、発展に貢献できればと思ひます。
阿部 なつ江	国立研究開発法人海洋研究開発機構	固体地球科学	日本において地球惑星科学分野の研究発展は不可欠です。理事の活動を通じて、多様な視点や人材育成を大切にし、国内外との連携を計り、また、この研究分野の魅力と重要性を社会に発信したいと思ひます。
田近 英一	東京大学大学院理学系研究科	宇宙惑星科学	地球惑星科学分野全体の学術活動支援とコミュニティの交流及び情報交換の活性化、境界領域の拡大、ジェンダー平等・公平性・包括性等の実現、国際連携、事務局労働環境の改善などの諸課題に引き続き取り組みます。
成瀬 元	京都大学大学院理学研究科	固体地球科学	JpGUの活動が正常化へと向かう中、巡検などの新しい大会企画を立ち上げ、財務面でも活動のバックアップをしていきます。若手が生き生きと参加できる環境づくりを目指したいと思ひます。
掛川 武	東北大学大学院理学研究科	地球生命科学	過去2年間セクションプレジデントとして理事会に参加しました。同時に総務委員、グローバル戦略委員、顕彰委員、ジャーナル企画運営委員なども兼任しておりました。JpGUが抱える様々な問題に直面し、この経験を活かせたらと思ひます。
大谷 栄治	東北大学大学院理学研究科	固体地球科学	RDM-TFの活動を推進し、JpGU会員が利用しやすい地球惑星環境科学のデータリポジトリを構築したいと思ひます。また、JpGUのさらなる国際化を目指して、関係する委員会で活動をしたいと思ひます。
和田 浩二	千葉工業大学惑星探査研究センター	宇宙惑星科学	JpGUは大会がメインですが、大会外においても各セクションや委員会の活動がますます重要になることでしょう。理事として大会運営を支えつつ大会以外のJpGU活動を円滑に行えるよう貢献する所存です。
沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科	大気水圏科学	人間活動も考慮したグローバルな水循環の研究をしています。自然災害の被害軽減や気候変動対策など、基礎科学の成果が社会貢献に直結する時代だと思ひます。地球惑星科学研究の推進に微力ながら尽くす所存です。
小口 高	東京大学 空間情報科学研究センター	地球人間圏科学	小口高先生は最先端の地理情報システムを駆使しながら、自然地理学研究を中心に国際的なリーダーシップを発揮してきた。セクションプレジデントでの貢献を進展させJpGU全体をさらに発展させる活動を期待したい。推薦者1:川幡穂高, 推薦者2:田近英一
沖 理子	(国)宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門/地球観測研究センター	大気水圏科学	宇宙からの地球観測を通じて、地球惑星科学の発展に貢献していきたいと思ひます。
(候補者1名辞退)			
関 華奈子	東京大学大学院理学系研究科	宇宙惑星科学	今期の宇宙惑星科学セクションプレジデントとして、構成員アンケート等を通してニーズを伺いましたので、その内容をJpGU全体の活動にも反映していけるよう微力ながら尽力したいと存じます。

原田 尚美	東京大学大気海洋研究所	大気水圏科学	地球惑星科学分野の研究発展には、多様性を高めることが肝要と思います。微力ながら貢献したいと思います。
瀬瀬 佑衣	名古屋大学大学院環境学研究科	固体地球科学	地球惑星科学の発展及び教育普及のお役に立てるよう尽力してまいりたいと思います。特に、子育て世代へのサポート体制の充実を目指したいです。
長谷川 直子	お茶の水女子大学 基幹研究院	地球人間圏科学	前期より理事を務めさせていただいております。前期の活動の中でまだ十分に貢献し切れていない気持ちがあり、また地球惑星科学分野における女性の活躍を進めるために微力ながら貢献できればと考えております。
堀 利栄	愛媛大学大学院理工学研究科	地球生命科学	地球惑星科学分野の発展の為、日本学術会議会員の立場も含めJpGUの各委員会活動と連携し、ダイバーシティ推進、次世代育成・教育、試料共有問題などに尽力していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。
高橋 幸弘	北海道大学 大学院理学研究院	宇宙惑星科学	これまでのセクションプレジデント、理事、会長としての経験を活かし、地球惑星科学が学術と社会の中で果たすべき役割を模索しながら、日本と世界で存在感ある活動を力強く推進していきたいと思ひます。
中村 卓司	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構/国立極地研究所	宇宙惑星科学	第26期日本学術会議の地球惑星科学委員会の会員として、また同委員会の国際連携分科会委員長として、JpGUと学術会議の橋渡しを務め、また大型研究計画策定や国際連携に貢献したいと思います。
小口 千明	埼玉大学大学院理工学研究科	地球人間圏科学	DEEI (Diversity, Equality, Equity, and Inclusion)の取組強化、国際化、異分野連携に努力します。日本での地球惑星科学分野の認識をさらに高めてもらえるよう知恵を絞ります。
宮嶋 敏	埼玉県立熊谷高等学校 理科地学	地球惑星科学総合	宮嶋氏はJpGU発足時から教育検討委員会教育課程小委員会委員長を務め、近年は教育検討委員会副委員長も務めている。よって、学校とJpGUとの関係を強化していくための理事として適任であり、ここに推薦する。 推薦者1:根本泰雄, 推薦者2:島山正恒